

- (2) 平成18年8月8日(火)～10日(木)、宮崎県穆佐小学校学童2名、教諭2名の本学招待旅行が行われた。この行事は、昭和50年より始められ、今回で32回目となる。
- (3) 平成18年10月7日(土)、同窓会支部長会議・学術連絡会議が開催された。
- (4) 平成18年10月14日(土)、学祖高木兼寛先生の墓参を行った。
- (5) 平成18年10月21日(土)、卒業50周年を迎えた卒業生(昭31年)をお招きし、懇談の集いを開催した。
- (6) 平成18年10月28日(土)、第102回解剖諸霊位供養法会を増上寺において執り行った。
- (7) 平成19年1月31日(水)、北原健二教授、益田昭吾教授、高津光洋教授、望月正武教授、宮野佐年教授、清水英佑教授、石川博教授、田邊晴康教授、永山和男教授、穴澤貞夫教授を囲みでの退任記念パーティーが行われた。
- (8) 平成19年2月20日(火) 献体者遺族に対して文部科学大臣よりの感謝状伝達式を執り行った。
- (9) 平成19年3月9日(金)、第82回医学科、第12回看護学科卒業式を挙行了した。

3) 印刷物等の発行(広報課)(平成18年4月～平成19年3月)

① 大学案内、PROSPECTUS 2006の発行

「東京慈恵会医科大学大学案内」「PROSPECTUS 2006 THE JIKEI UNIVERSITY SCHOOL OF MEDICINE」を4月、6月に発行した。これらは学外者に本学の概要、歴史を理解頂くのに役立っている。PROSPECTUSは主に海外からの留学生、訪問者に配布している。

② 法人誌「TheJIKEI」の発行

平成18年10月に「TheJIKEI10号」を平成19年3月には「TheJIKEI11号」を刊行している。この法人誌「TheJIKEI」は年2回発行しているが、作成部数は、2万部でその主な配布先は次のとおりである。

- ・同窓、医学部父兄および120周年記念事業寄付者(8,100部)
- ・各医療連携病院(6,000部)
- ・4機関職員(4,400部)各種説明会等用(1,500部)

なお、同窓、医学部父兄および120周年記念事業寄付者、各医療連携病院へはメール便を利用し配送している。

③ 大学ガイド

大学広報委員会が主導となり、「平成19年度版大学ガイド」を平成18年6月に発行した。

④ 大学院ガイド

「平成19年度版大学院ガイド」については大学広報委員会および広報課が事務局となり、平成18年9月に刊行した。本年度は部門名称、内容が全面改定となった。原稿回収及び校正等に日数を要し、例年より遅い9月の発行となった。

なお、この「大学院ガイド」の内容はホームページ上に掲載している「大学院ページ」と連動している。

⑤ 大学説明会案内ポスター

「大学ガイド」の作成に合わせ平成18年6月に平成19年度用大学説明会と入試日程のポスターを作成した。

各高等学校、予備校等をはじめ、同窓会長、支部長、学術連絡委員に郵送し広報に関するご協力を頂いている。

⑥ 大学ホームページ

大学及び附属病院の情報発信のためホームページのスムーズな更新に努めた。

今年度は、初期研修医、レジデント及び職員募集ページの充実を図った。

特に看護職員募集ページを単独構成にした。総ページ数は25ページに達した。

看護職員確保への寄与が期待される。

平均月間アクセス件数は約90万ページビュー、平均月間訪問者数は約7万人を超える規模

になった。大学ホームページの重要度は年々増してきている。
さらなる充実に努めたい。

⑦ イン트라ネット

イントラネットで「理事長・学長ホームページ」「大学公示ホームページ」「広報課ホームページ」「大学・病院行事予定」及び「大学・本院会議予定」を運営している。大学の方針、最新情報を素早く共有できることが目的である。

イントラネットホームページに対する教職員の認知度が上がり、アクセス件数も本年度急増した。特に「大学・本院会議予定」及び「大学・病院行事予定」のアクセス件数が多く教職員の業務遂行に役立てている。

⑧ マスコミ対応

平成18年6月15日に青戸病院泌尿器科医療事故裁判の判決があった。多くのマスコミから取材があった。多くのマスコミ取材対応から多くの貴重な経験を得た。それ以降の医療事故などの対応に役立たせることが出来た。個々の対応を整理、システム化し広報危機管理体制を構築すべく準備を進めている。

⑨ オールユーザーメールの活用

教職員が新聞、雑誌等に掲載される時、テレビ及びラジオに出演する時にオールユーザーメールで広報した。教職員の活躍を知ることが出来、モチベーション向上に役立てることが出来た。